

廣村 正彰（ひろむら まさあき）氏 プロフィール
グラフィックデザイナー

1954年生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI（コーポレートアイデンティティ）計画、VI（ビジュアルアイデンティティ）計画、サインデザインを多数手がける。主な仕事に、日本科学未来館、横須賀美術館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、東京ステーションギャラリー、台中国立歌劇院、アーティゾン美術館、東京 2020 スポーツピクトグラム開発に携わる等。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN 賞、SDA 最優秀賞、グッドデザイン金賞ほか。近著『デザインからデザインまで』（ADP）ほか。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授、AGI会員。

※廣の字「广」+「黄」

主な実績



日本科学未来館 CI、サイン計画



すみだ水族館 VI、サイン計画



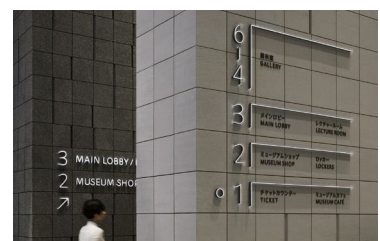
9hナインアワーズ AD、VI、サイン計画



株式会社ロフト 総合アートディレクター



株式会社そごう・西武 デザインアドバイザー



ARTIZON MUSEUM サイン計画